

千葉県酒々井町教育委員会

(様式4-2：令和3年度 モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）にかかわる学校支援制度
実施結果報告書)

実施結果報告書

1. 学習名称：小学校3学年社会科「町のうつりかわり」					
2. テーマ：酒々井学（ふるさと学習）小学校3学年「酒々井の交通」					
3. 実施教科：社会科・総合的な学習の時間					
4. 関連単元：道路や鉄道のうつりかわり					
5. 実施単元数：1					
6. 学年	3	7. クラス数	2	8. 生徒数	50
9. 実施内容					
(1) 目的					
酒々井学（ふるさと学習）において、京成電鉄と連携した学習プログラムを実践することで、児童・生徒に鉄道を通じたふるさと意識を育む。					
(2) 実践授業 小学校3学年「酒々井の交通」					
①学習のねらい					
町を通る鉄道とその鉄道の発達によって人々の生活が移り変わってきたことを知り、交通とまちづくりとの関わりについて理解するとともに、ふるさとの鉄道に対して関心を持ち、地域の公共交通について考える。					
②学習内容					
・鉄道（京成電鉄）と町の開発との関係について、大正15（1926）年に京成電鉄成田線が開通し、京成酒々井駅と宗吾参道駅が開設されたことにより、酒々井町の開発に大きく関わってきたことを京成電鉄の出前授業を通して学習する。（1月下旬）					
・社会科学習の際に、町内にある京成電鉄宗吾車両基地を見学し、京成電鉄の旧型車両や車両を整備している人々の様子を見ることで、鉄道会社では鉄道の安全運行のために工夫と努力をしていることを学習する。（2月上旬）					
(3) 作成資料					
①町の開発（鉄道と道路）【写真パネル】					
②映像資料作成（業者委託による撮影編集）「わたしたちの酒々井町と京成電鉄」【DVD】					
・宗吾車両基地の見学コース（限定運転手の仕事）					
・京成電車からの車窓風景（酒々井町の町並み）					
③京成電鉄と酒々井町の開発【ワークシート】					

10. 学習のながれ：

小学校3学年社会科「町のうつりかわり」・酒々井学プログラム「酒々井の交通」

(1) 実践の要旨

社会科学習の「町のうつりかわり」と地域の鉄道会社との連携事業によるふるさと学習（酒々井学プログラム「酒々井の交通」）とを関連づけて実践することで、児童が、①まちづくりと交通について考え、②交通を通じて郷土に対するふるさと意識を育む学習を展開する。

(2) 3学年社会科学習指導要領の目標

市の様子の移り変わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

- (ア)市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解すること。
- (イ)聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

- (ア)交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市の人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。

(3) 学習の流れ

①社会科学習・ふるさと学習（令和4年1月下旬）

- ・約70年前と現代の京成電鉄酒々井駅前の写真を比べて、「町はいつごろどのように変わったのだろうか？」という学習問題を設定する。
- ・大正時代と現代の京成電鉄酒々井駅前の地図を比べて、町の変化の原因を予想する。
- ・交通と町の開発との関係について考え、各種資料等を活用して調べ活動を行う。
- ・京成電鉄の方による出前授業「まちづくりと交通」を通して調べる
- ・交通と町の開発との関係について話し合う。
- ・学習内容をキーワードと関係図を使いシートにまとめる。

②社会科見学

- ・宗吾車両基地の整備の様子を見学して、安全な運行に対する工夫と努力について知る。
 - ・旧型車両を観察して、京成電鉄の歴史を体感する。
- ※今年度はコロナ禍のため、作成したビデオ「わたしたちの酒々井町と京成電鉄」を、学級毎に視聴して対応した。

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。

33	社会科	テーマ	酒々井の交通【出前授業】	
ねらい	町を通る鉄道について知り、 <u>鉄道の発達によって人々の生活が移り変わってきた</u> ことを理解することでふるさとの鉄道に対して関心を持つ。交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、町や人々の生活の様子を捉えそれらの変化を考え表現する。【資料】副読本「町のうつりかわり」・酒々井の古写真・古地図・酒々井町政便覧			
過程	学習活動 と ・内容	「発問」と ・指導		資料
つかむ	鉄道は町の開発にどのようにかかわっているのだろうか？			
調べる	<p>1. 昔（大正10年）と今の地図を見くらべて変化の原因を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京成電鉄の酒々井駅 ・国道51号線バイパス道路 <p>2. 交通（鉄道・道路）と町の開発との関係について考え、各自で調べる。</p> <p>○交通（鉄道と道路）と開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1897年 JR 酒々井駅開業 ・1926年京成酒々井駅開業 ・1972年東関東自動車道開通 ・1982年国道51号線バイパス 	<p>「これは大正10（1921）年と今の地図です。2つの地図を見くらべて町の様子がかわった理由を考えましょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道や大きな道路の交差点の周りに家が多くなっている。 <p>「鉄道や道路ができると町の様子が変わるのはどうしてだと思いますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人や物が移動しやすくなる。（通勤・観光・娯楽） ・住宅などの建物ができ町が大きくなる。 <p>「鉄道や道路と町の開発との関係について調べましょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で鉄道か道路を選択して調べさせる 		<ul style="list-style-type: none"> ・町の新旧地図 ・酒々井発見伝 ・副読本の年表 ・人口グラフ ・公共施設建設 ・町政便覧
出前授業 5分	<p>1. 60年前の京成酒々井駅の様子を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の酒々井駅の写真 	<p>「これは今から60年ほど前の昔の京成酒々井駅前と電車の写真です。今の様子と比べてどうですか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔は家がほとんどない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・昔の酒々井駅と電車の写真
5分	<p>2. 京成電車からの町の様子（車窓からの風景）を視聴する。（宗吾～大佐倉間往復5分）</p>	<p>「京成の宗吾参道から大佐倉駅間の電車からの風景を見て調べてみましょう」</p> <p>「家はどのような所に多かったですか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅の近く 		<ul style="list-style-type: none"> ・車窓からの風景ビデオ
30分	<p>3. 京成電鉄と町の発展の関わりについて社員の方から説明を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京成電鉄の年表 ・京成電鉄の路線図変遷 ・乗降客数の変遷（酒々井駅） ・町の変遷の様子（画像） 	<p>「京成電車が町の発展にどのように関係したのかお話を聞いてみましょう」</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・京成電鉄の方 ・ワークシート ・京成の資料
5分	<p>4. 京成電鉄の社員の方に質問をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京成と町の開発との関係 <p>5. 授業の感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2名発表 	<p>「今日の学習の中で、京成電鉄の方に何か質問はありませんか？」</p> <p>「今日の授業の感想を発表してください」</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート

これは、築山から見た昔と今の京成酒々井駅前の国道51号線周辺の写真です。
 ★2つの写真を見くらべて気がついたことを書きましょう！



昔の京成酒々井駅前（60年くらい前）

今の京成酒々井駅前

【気がついたこと】

【知りたいこと】

学習問題

予想

資料名

調査内容

交通と町の開発の関係 ★「学習内容をキーワードを使ってまとめましょう！」

京成電鉄 京成酒々井駅（昭和27年）

